

(2020/9/14版)

第14回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム 第428回生存圏シンポジウム

日時: 2020年9月14日(月) 13:30~17:30
15日(火) 10:00~17:00

場所: オンライン(Zoom)

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月14日

(座長: 橋口浩之)

13:30 - 13:40 MUレーダー・赤道大気レーダー共同利用の現状

MUレーダー/赤道大気レーダー共同利用・共同研究拠点専門委員長 山本衛

13:40 - 14:00 YMC集中観測期間(2015/2017)におけるスマトラ南西沿岸陸域の対流日変化と雷活動

森修一(JAMSTEC)・濱田純一(都立大)・伍培明・米山邦夫(JAMSTEC)・Dodi Ardiansyah・Urip Haryoko・Noer Nurhayati(BMKG, Indonesia)・Reni Sulistyowati・Fadli Syamsudin(BPPT, Indonesia)

14:00 - 14:20 スマトラ東部沿岸部における降雨日変化-泥炭地域レーダー観測結果-

小川まり子(京大東南研)・山中大学(地球研)・Awaluddin・Arief Darmawan・Albertus Sulaiman(BPPT, Indonesia)・甲山治(地球研・京大東南研)

14:20 - 14:40 スマトラ島で観測されたオゾン変動と力学場の関係について

鈴木順子・荻野慎也・木下武也・城岡竜一(JAMSTEC)・岩崎杉紀(防衛大)・米山邦夫(JAMSTEC)

14:40 - 15:00 熱帯対流圏界層における乱流による混合の観測

橋野桃子・橋口浩之(京大RISH)・Richard Wilson(LATMOS/IPSL)・荻野慎也・鈴木順子(JAMSTEC)

15:00 - 15:20 YMC-BSM2018で観測されたインドシナ半島におけるオゾン変動

荻野慎也・鈴木順子・木下武也・城岡竜一(JAMSTEC)

15:20 - 15:30

==== 休憩 ====

(座長: 横山竜宏)

15:30 - 15:50 IUGONETプロジェクトの活動報告とその成果について

新堀淳樹(名大ISEE)・田中良昌(極地研)・梅村宜生(名大ISEE)・阿部修司(九大ICSWSE)・上野悟(京大天文台)

15:50 - 16:10 観測ロケットに搭載するデュアルバンド・ビーコン送信機とアンテナの開発

黒川浩規・山本衛(京大RISH)

16:10 - 16:30 NICT activities on space weather research and operation in Asia

Kornyanat Hozumi・Mamoru Ishii・Takuya Tsugawa・Michi Nishioka(NICT)・Pornchai Supnithi(KMITL, Thailand)・Punyawi Jamjareegulgarn(KMITL PCC, Thailand)・Sittiporn Channumsin(GISTDA, Thailand)・Tharadol Komolmis(CMU, Thailand)・Donekeo Lakanchan(NUOL, Laos)・Win Zaw(YTU, Myanmar)・Mamoru Yamamoto(RISH, Kyoto Univ.)・Susumu Saito(ENRI)・Yuchi Otsuka(ISEE, Nagoya Univ.)

16:30 - 16:50 MUレーダーによる電離圏IS観測の長期統計解析

横山竜宏・上野将典・山本衛(京大RISH)

16:50 - 17:10 GAIAモデルとの結合に向けた赤道プラズマバブルシミュレーションの改良

古元泰地・横山竜宏(京大RISH)

17:10 - 17:30 Synthetic aperture radar and ground observation of ionospheric disturbances over Japan

Hiroatsu Sato・Jun Su Kim(DLR, Germany)・Yuichi Otsuka(ISEE, Nagoya Univ.)

9月15日

(座長: 矢吹正教)

- 10:00 - 10:20 ライダーによる赤道域対流圏・成層圏のエアロゾル動態モニタリング
阿保真・柴田泰邦・長澤親生(都立大)
- 10:20 - 10:40 YMC-BSM期間中の西太平洋域に見られた南西方向に伝播する擾乱活動に関する研究
木下武也・荻野慎也・鈴木順子・城岡竜一(JAMSTEC)
- 10:40 - 11:00 バングラデシュにおけるX帯気象レーダー観測
村田文絵(高知大理工)・寺尾徹(香川大教育)・上米良秀行(防災科研)・下舞豊志(島根大理工)・佐々浩司(高知大理工)
- 11:00 - 11:20 ヴェトナム北部における時間雨量のGSMaP・地上降水計比較
野津雅人(都立大)・松本淳(都立大・JAMSTEC)・L. Trinh-Tuan (ハノイ科技大)・T. Ngo-Duc・T. Truong-Duc (ヴェトナム資源環境省)
- 11:20 - 11:40 北半球冬季中層大気における移動性プラネタリー波
岩尾航希(熊本高専)・廣岡俊彦(九大院理)
- 11:40 - 12:00 2019/2020年冬季の極渦発達の力学過程について
松山裕矢・廣岡俊彦(九大院理)・向川均(京大院理)

12:00 - 13:00 === 昼食 ===

(座長: 横山竜宏)

- 13:00 - 13:20 衛星＝地上の電離圏全電子数観測手法の開発状況
山本衛(京大RISH)
- 13:20 - 13:40 Study of the ionospheric scintillation and plasma bubble structure by using EAR and multi-constellation and multi-frequency (MC/MF) GNSS receiver
Acharaporn Bumrungrkit・斎藤享・Pornchai Supnithi (電子航法研)
- 13:40 - 14:00 赤道大気レーダーによる2019年12月の金環日食時の電離圏観測
高木理絵子・横山竜宏・山本衛(京大RISH)・穂積 Kornyannat (NICT)
- 14:00 - 14:20 Equatorial plasma bubbles and midnight brightness wave interaction over a low latitude station
M. Sivakandan・Y. Otsuka (ISEE, Nagoya Univ.)・T.K. Ramkumar (NARL, India)・P. Ghosh (ISEE, Nagoya Univ.)・S. Sripathi (IIG, India)
- 14:20 - 14:40 Occurrence feature of plasma bubbles during geomagnetic storms using long-term GNSS-TEC data
惣宇利卓弥・新堀淳樹・大塚雄一(名大ISEE)・津川卓也・西岡未知(NICT)

14:40 - 14:50 === 休憩 ===

(座長: 橋口浩之)

- 14:50 - 15:10 衛星回線における降雨減衰特性と地上風および上空の風速との関係
前川泰之・佐々木駿一・山崎光資・柴垣佳明(大阪電通大)
- 15:10 - 15:30 GNSS稠密ネットワークおよびラマンライダーを用いた信楽上空の水蒸気時空間変動の観測
矢吹正教・柿原逸人・津田敏隆(京大RISH)・塚本誠・竹内栄治・長谷川壽一(英弘精機)
- 15:30 - 15:50 スペクトル観測理論に基づくレーダーインバージョンアルゴリズムの開発
田村亮祐(京大RISH)・西村耕司(国立極地研)・橋口浩之(京大RISH)
- 15:50 - 16:10 MUレーダーを用いたDDMA-MIMO観測結果
松田知也・橋口浩之(京大RISH)
- 16:10 - 16:30 島根県におけるレーダー解析雨量とAMeDAS観測値との比較
下舞豊志・小林謙吾(島根大総合理工)
- 16:30 - 16:50 複数の航空機監視装置で受信される高頻度気象情報のMUレーダー観測との比較検証
吉原貴之・瀬之口敦・毛塚敦・斎藤享・古賀禎(ENRI)

お願い

(1) 発表について

Zoomを用いたオンライン発表で行います。プレゼンテーションファイルを画面共有して発表ください。

トラブル時はチャットあるいはメール(hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp)で御連絡下さい。トラブル時には発表の順番を入れ替えることがあります。

他の方の発表の録画やキャプチャーを行わないようにお願いします。

(2) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して利用いたします。

用紙: A4縦

ページ数: 2~6ページ

原稿締切: 2020年9月15日(火) (シンポジウム終了時まで)

送付方法: WordまたはPowerPointファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先: 電子メール: ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考: PDFファイルをホームページに掲載します。(冊子体を作成する場合は白黒で印刷します。)